

NEC関西 環境アニュアルレポート (2005年度版)



えり



かいつぶり




近江神宮



三井寺



瀬田の唐橋

NEC関西 



石山寺



南郷洗堰

関西日本電気株式会社



目次

ごあいさつ	1
NEC関西の概要	2
活動のあゆみ	3
環境管理組織	4
環境に係わる認証・認定	5
環境方針、目的目標	
環境方針	6
2004年度の環境管理活動結果	7
2005年度の主な環境目的・目標	8
エコファクトリー活動	9
環境負荷マップ	22
化学物質管理	23
環境会計	26
環境情報開示、コミュニケーション	27
環境測定結果	28
地域社会とのかかわり	30
土壌・地下水問題への対応状況	35

■ ■ ごあいさつ

当社は、NECエレクトロニクスグループにおける半導体の前工程（拡散基地）を担当し、「顧客指向」「人間尊重」「技術重視」を経営理念として事業活動を展開致しております。

近畿1400万人の水資源である琵琶湖に隣接している点に配慮致しまして、CSR（企業の社会的責任）の取組みの一つである環境活動を積極的に展開致しております。

高いレベルでの環境活動を効率良く実施していくために国際規格に基づく環境マネジメントシステムを構築し、1996年3月に半導体製造業としては国内初となるISO14001認証を取得することができました。その後適用を拡大し、2005年2月に当社の全ての関連会社で認証取得を完了致しました。

また、1999年8月には地元の大阪市から自らが責任を持って環境活動が実行できる事業所として認定をいただき、その期待に応えるべく地道な活動を展開し、今日に至っております。

製造工程で使用するエネルギー・化学物質の使用量や廃棄物発生量を削減していくことはもちろんのこと、美しい近江八景や母なる湖「琵琶湖」と共生・調和しサステナブルな社会の実現に向け、以下の取り組みを推進してまいります。

循環型社会構築のためのグリーン調達、省資源、廃棄物削減

地球温暖化防止のための省エネルギー活動

地域との共生（良き企業市民としての活動）

本報告書は、2004年度の環境活動の実績をまとめたもので、活動の考え方や取り組みについて一人でも多くの方にご理解いただくと共に忌憚のないご意見をお聞かせいただければ幸いです。



2005年6月

関西日本電気株式会社

社長 貴志 禎之

A handwritten signature in black ink, reading "S. Hishida".

■ NEC関西の概要

社名	関西日本電気株式会社
設立	1983年7月1日 新日本電気株式会社より電子デバイス事業を分離、独立 (創業1943年 日本電気株式会社大津製造所)
社長	貴志 禎之(きし さだゆき)
資本金	10億円
本社所在地	滋賀県大津市晴嵐二丁目9番1号 〒520-8555 TEL 077-537-7500
従業員数	2363名 (2005年3月末現在)
生産品目	各種半導体 (表示制御IC、パワーMOS FET、汎用リニアIC、マイクロコンピュータ、メモリ、化合物デバイス) 電子コンポーネント製品 (コックピット用ブラウン管、磁気ヘッド)
関連会社	日本電子ライト(株) 三重県上野市千歳138番地 〒518-0002 TEL 0595-23-3251(代) (株)近畿分析センター 滋賀県大津市晴嵐二丁目9番1号 〒520-0833 TEL 077-534-0651(代)



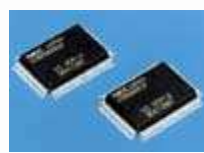
表示制御LSI



パワーMOS FET



汎用リニア IC



マイクロコンピュータ

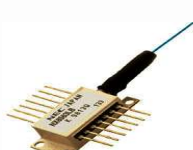


メモリ

主な製品



化合物デバイス



コックピットブラウン管



磁気ヘッド

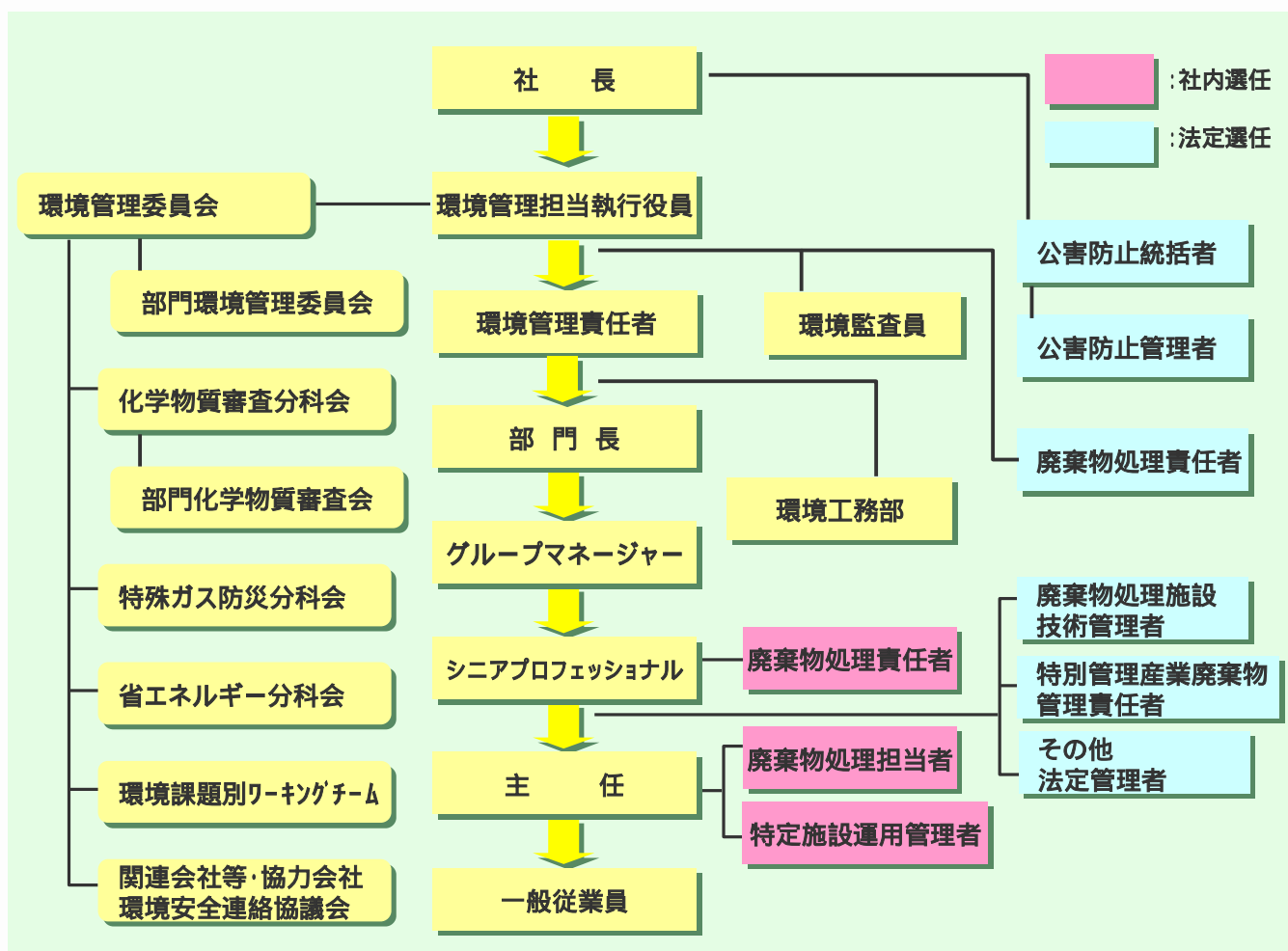
■ 活動のあゆみ

年度	活動推移
1970 ～ 1999	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全施設の設置 ・環境安全管理室設置 ・環境監査の実施 ・地下水使用停止(リン対策) ・化学物質審査の制度化 ・脱窒素装置導入 ・トリクロロエチレン及びテトラクロロエチレン全廃 ・産業廃棄物削減及びセロエミッションの実現に向けて活動開始 ・環境保全優良事業場賞受賞(1984) ・煌き大津賞受賞(1990) ・ISO14001NEC関西認証取得:1996年3月 日本品質保証機構 ・環境管理実施事業所認定
2000 ～ 2002	<ul style="list-style-type: none"> ・Ecoアクションプラン制定 ・セロエミッションの達成 ・MSDS整備完了 ・製品・製法アセスメント実施 ・環境アニュアルレポート発行 ・環境会計の実施 ・PRTR法対応 ・リサイクル協議会会長賞受賞(2000) ・高圧ガス保安経済産業大臣表彰(2001) ・地域環境保全功労者表彰(2001) ・高圧ガス保安功労者(2001) ・滋賀県一般高圧ガス保安協会感謝状(2002) ・地域環境保全功労者表彰(2002)
2003 ～	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネルギー推進 ・環境管理実施事業所更新 ・淡海エコフォスター制度登録 ・グリーン調達推進(直材04年2月100%完了) ・産官学による再資源化活動推進 ・経済産業省による第1種エネルギー管理指定工場総点検(合格) ・当社のすべての関連会社でISO14001認証取得 ・監査・教育・情報等の電子化推進

■ 環境管理組織

環境管理活動を推進するための環境管理組織は、以下の通りです。

- ・環境方針等の全社展開機関として環境管理担当執行役員を委員長とする環境管理委員会を設置し、課題別の解決機関として分科会、各種ワーキングチームを設置しています。
- ・環境関係の法定管理者として公害防止統括者、公害防止管理者等を設置し、また社内管理者として廃棄物処理責任者、廃棄物処理担当者等を選任しています。

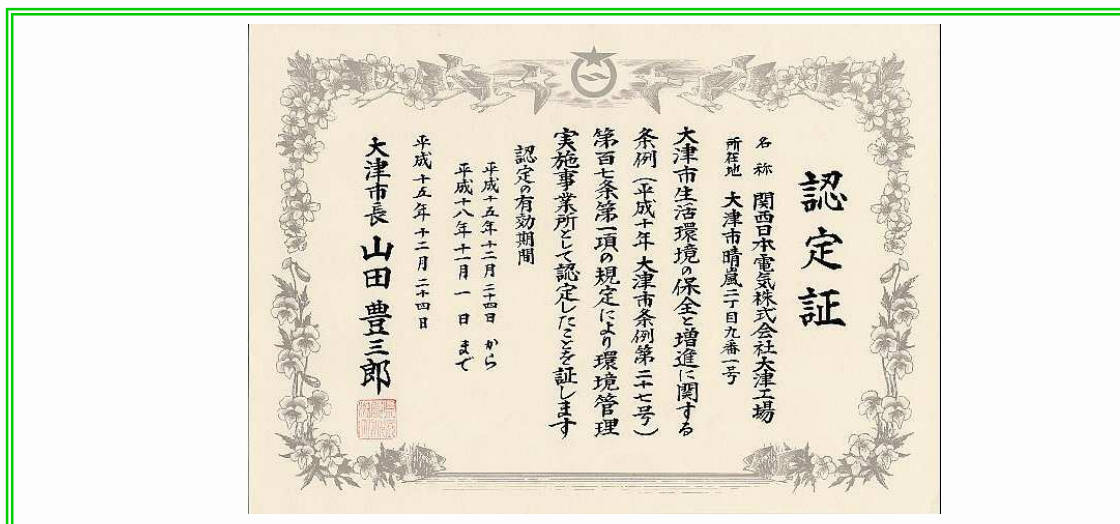


■ 環境管理に係わる認証・認定

環境マネジメントシステムに係わる国際規格であるISO14001認証を国内半導体製造事業所において最初である1996年3月8日に取得しました。2003年11月にNECエレクトロニクスグループ・国内生産分身会社6社の一括認証に切り替えました。



自主的な環境管理活動が認められて1999年9月に大津市から「環境管理実施事業所」として認定されました。継続認定として2003年12月に更新されました。



■ 環境方針

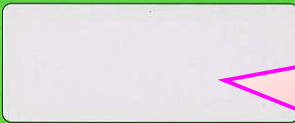
環境理念

自然のいとなみを尊重した環境管理活動を展開し、
環境に配慮した事業活動と地球環境保全の両立を目指します。

行動指針

1. 環境に与える影響を考慮した企業活動、製品又はサービスの全領域において環境負荷を最小限にするために省資源・省エネルギー・廃棄物削減・環境リスク対策などの環境パフォーマンスを推進する。
2. 環境マネジメントシステムに基づき環境保全活動を展開し、継続的改善の実施と汚染の予防を図る。
3. 環境に関する法令及び同意したその他要求事項を遵守することはもとより、自主管理基準値を設定し、環境管理レベルの向上に努める。
4. 環境目的、目標の設定及びそれを達成するためのプログラムを環境管理活動計画の中で明確にし、その計画に基づく実行と定期的な見直しを行う。
5. 環境方針を文書化し、全従業員に周知徹底するとともに環境教育を計画的に実施し、意識向上を図り全社一丸となって環境管理活動を展開する。
6. 環境方針の積極的な公開と開発した環境技術・管理手法を活用して社会に貢献する。
7. 琵琶湖の近隣に立地していることを認識し、自然環境に充分配慮するとともに地域と一体となった環境向上活動を展開する。

環境方針の内容をいつでもどこでも見られるように
環境グリーンカードを全従業員に配付しています。

NEC	
NEC関西の環境方針 (環境理念+7つの行動指針)	行動指針
環境理念 自然のいとなみを尊重した 環境管理活動を展開し、 環境に配慮した事業活動と 地球環境保全の両立を目指します。	与える影響を考慮した企業活動、製品又はサービスの 域において環境負荷を最小限にするために省資源・省エ ネルギー・廃棄物削減・環境リスク対策などの環境パフォー スを推進する。 マネジメントシステムに基づき環境保全活動を展開し、 改善の実施と汚染の予防を図る。 に関する法令及び同意したその他要求事項を遵守するこ うとより、自主管理基準値を設定し、環境管理レベルの に努める。 目的、目標の設定及びそれを達成するためのプログラム 環境管理活動計画の中で明確にし、その計画に基づく実行 的見直しを行う。
環境方針に基づく「私の環境に配慮した行動」	方針を文書化し、全従業員に周知徹底するとともに環境
所属	氏名
	

従業員各自は、環境グリーンカードに
実践を心がける環境に配慮した
自分自身の行動を記載しています。



全従業員は、環境グリーンカード
を常に携帯しています。

■ 2004年度の環境管理活動結果

2004年度の主な取組み実績

2004年度環境目標	実績	評価
地球温暖化防止 炭酸ガス排出量： 1990年度対比117%以下	1990年度対比109%	
グリーン調達推進活動 間接材料のグリーン調達に対する調査を開始し、間接部材購入率を70%にする。	91%	
資源有効利用 化学物質の総使用量： 2003年度対比104%以下	2003年度対比95%	
資源循環 産業廃棄物総排出量： 2003年度対比104%以下	2003年度対比102%	
一般廃棄物総排出量： 2003年度対比93%以下	2003年度対比80%	
リスクミニマム 計画的に環境リスク対策を進めることで、「外部に影響する環境異常の発生件数ゼロ」を継続する。	外部に影響する環境異常 ゼロ継続	

達成度評価 : 100%以上120%未満
 : 80%以上100%未満
 × : 80%未満

■ 2005年度の主な環境目的・目標

環境目的	2005年度目標
地球温暖化防止 炭酸ガス排出量原単位(企業物価指数考慮)を2010年度に1990年度対比で25%削減する。	炭酸ガス排出量原単位(企業物価指数考慮)を1990年度対比42%削減
グリーン調達推進活動 間接材料に対する間接部材購入率を2005年度末に100%にする。	間接部材購入率 2005年度末に100%
資源有効利用 化学物質の総使用量を2007年度に2004年度対比102%にする。	2004年度対比113%
資源循環 産業廃棄物総排出量を2007年度に2004年度対比94%にする。	2004年度対比101%
一般廃棄物総排出量を120t/年以下を継続する。	120t/年以下
リスクミニマム 計画的に環境リスク対策を進めることで、「外部に影響する環境異常の発生件数ゼロ」を継続する。	外部に影響する環境異常 ゼロ

■ エコファクトリー活動1

省エネルギーへの取り組み (地球温暖化防止への貢献)

- ・ 2004年度は、全社一丸となったケチケチ作戦を展開しました。製造ラインにおけるプロセスの改善、空調環境の見直し、フリージング適用、インバータ化などにより、目標を達成しました。
- ・ 2005年度以降の取り組みとしては、地道な省エネ施策を継続すると共に新エネルギーの導入検討など将来に向けた省エネ施策を検討していきます。

当社の地球温暖化防止[CO₂削減] 長期目標

長期目標：絶対値 91.4%（'10年度 / 90年度対比）
（国際的取決め準拠）
原単位 75.0%（'10年度 / 90年度対比）
（企業物価指数を考慮）

全社一丸となった
ケチケチ作戦の実践



全員参加の省エネ・省資源

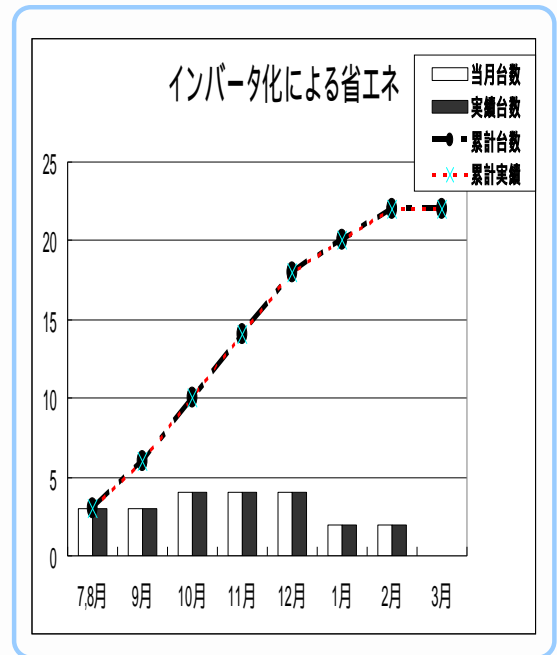
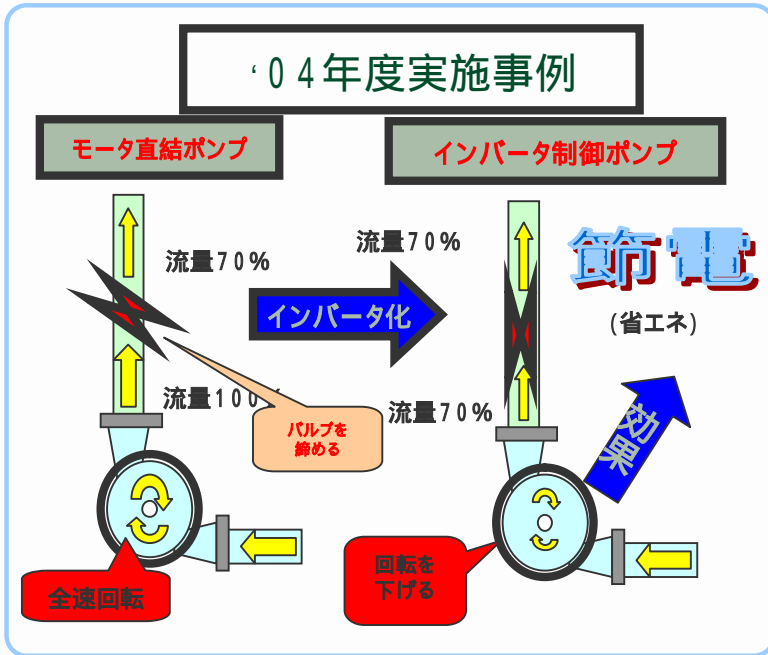
活動期間
2004年10月8日～12月末

- ① 使用しない設備の停止徹底
- ② 純水 等蛇口を最小限に絞りに込む
- ③ 事務所エアコンの停止
- ④ 未使用時のパソコン・照明OFF
- ⑤ トイレの消灯

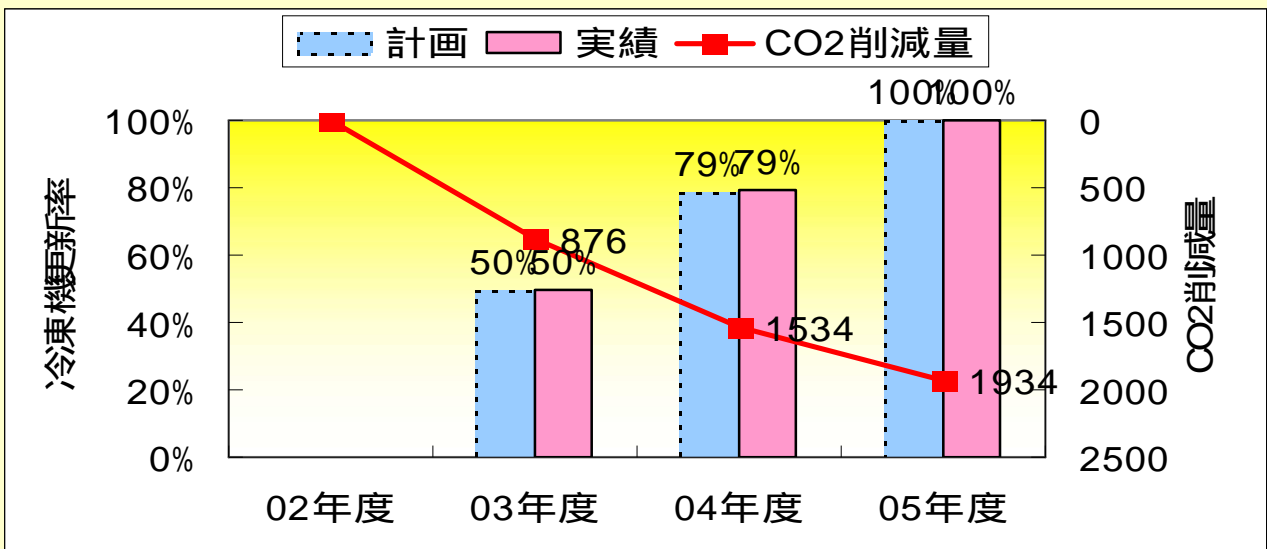
発行 NEC関西 環境工務部

■ エコファクトリー活動2

省エネルギー事例



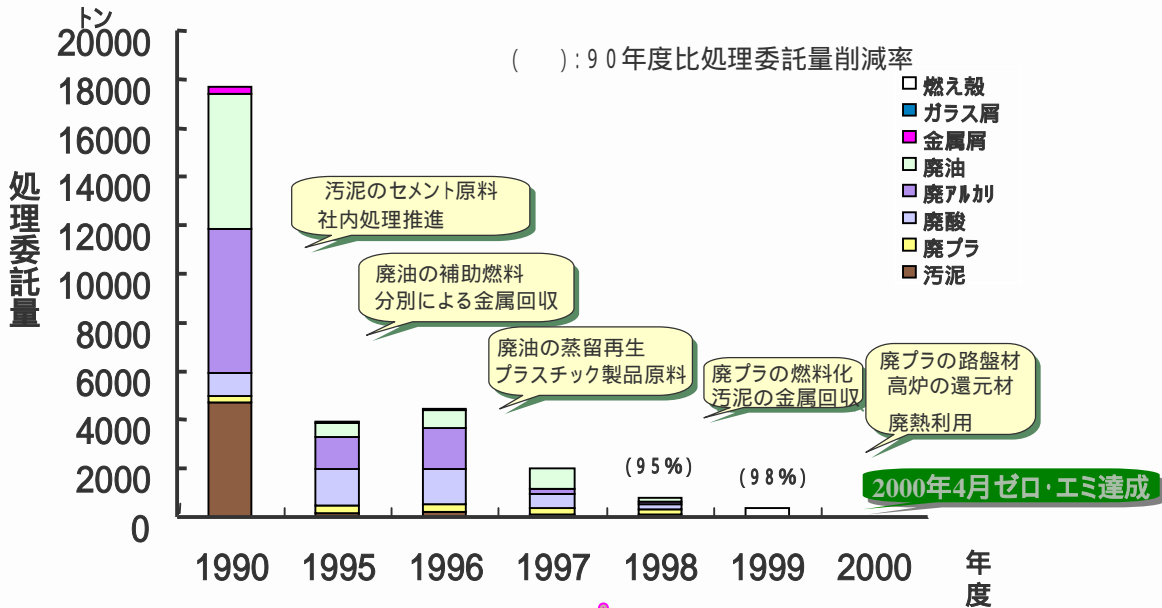
特定フロンを用いた冷凍機を全て更新する計画です。
2003年度から開始し、2005年度に完了します。
同時に20%以上の省エネルギーが図られます。



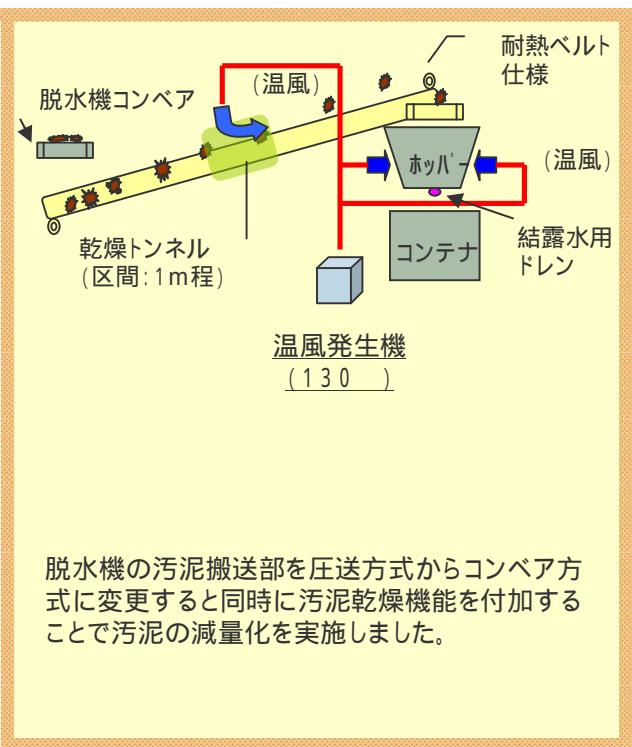
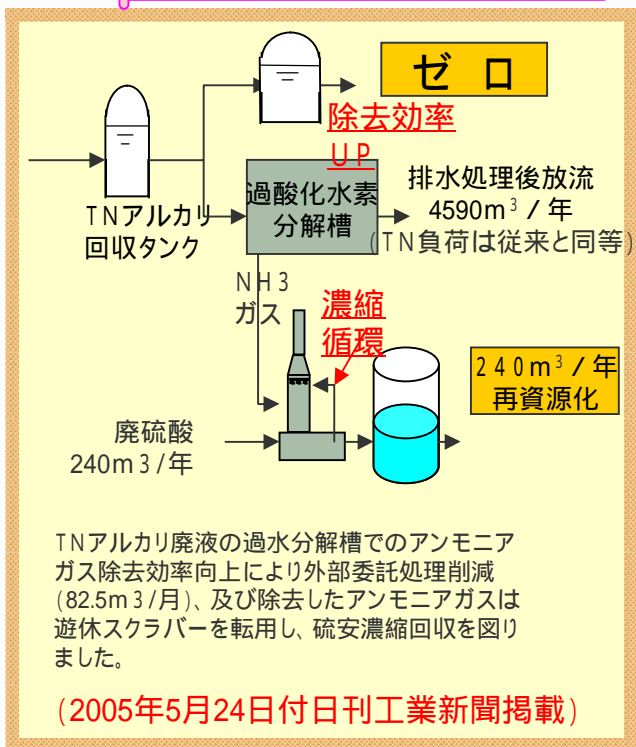
■ エコファクトリー活動3

廃棄物削減への取り組み

ゼロエミッション(100%再資源化)の継続



2004年度改善事例



■ エコファクトリー活動4

環境リスク対策事例

当社の廃棄物が適正に処理されるよう常に確認しています。

- ・ 当社の廃棄物を収集運搬業者との情報交換の機会として定期的に安全輸送協議会を開催しています。 (1回/年)
- ・ 当社から発生した廃棄物が適正に処理されているかどうかを把握するために廃棄物処理委託先の現地確認を実施しています。 (1回/年)

廃棄物排出責任への的確な対応



当社の廃棄物を安全に運んでもらうために廃棄物収集運搬業者を集めて安全輸送協議会を開催しました。

(開催日2004年6月)



廃棄物の中間処理・最終処分業者を年1回の頻度で現地確認を実施しています。

2004年度は環境を担当するトップも出席し、9社の確認を実施しました。

(開催日 2004年11月)

■ エコファクトリー活動5

環境リスク対策事例

環境リスクマネジメントの強化のため以下の取り組みを進めています。

- ・ 2004年度は、環境負荷の高い場所において環境異常時を想定した対応テストを計画通り実施しました。
- ・ 環境異常時を想定した対応テストでは、緊急予備槽や土のうの有効性についても確認すると共に反省会を実施し問題点を抽出し、解決することでレベルアップを図っています。

環境異常時想定処置対応テスト実施



薬液漏洩を想定し環境異常時対応訓練を実施しました。初の試みとして全社を挙げて訓練を行い、トップ以下部門長が参加しました。万一の時でも被害を最小限にするために訓練を繰り返し実行しています。

(実施月 2004年6月)



なまし炉稼働中の水素漏洩を想定して、避難・緊急連絡、設備停止などの対応訓練を行いました。

(実施月 2004年11月)

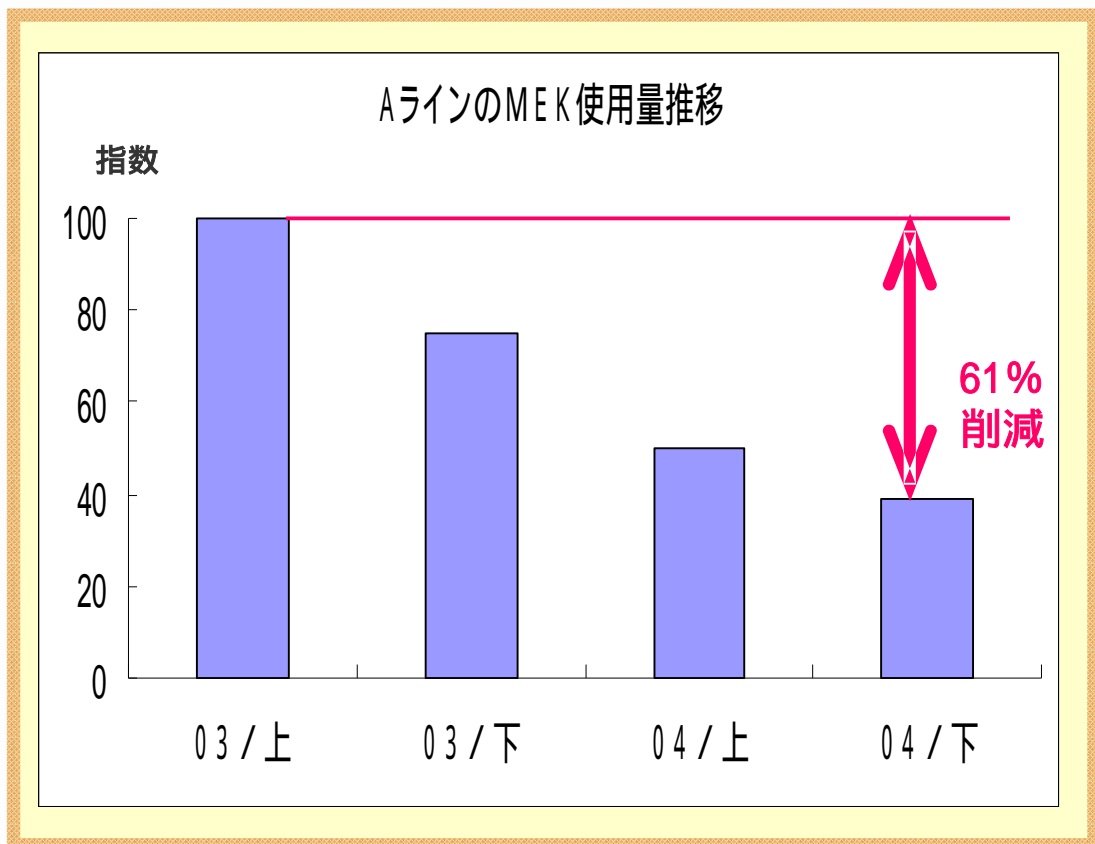
■ エコファクトリー活動6

薬品使用量削減事例

事業ラインでは製品の品質を維持しながら、工程で使用する薬品を削減するための改善に取り組んでいます。

塗布機に装着しているレジストカップは従来MEK液で洗浄していましたが、このMEKを危険有害性の低い炭酸エチレンに変更して、オゾンにより汚れた炭酸エチレンを再生する事で連続洗浄性も向上し、環境安全面の改善もできた。また、液交換後は、凍結精製法でリサイクルが出来るため化学物質使用量削減に貢献している。

(2005年5月3日付日刊工業新聞掲載)



■ エコファクトリー活動7

オフィスにおける環境管理活動

- ・一般従業員が係わる一般廃棄物の発生場所には分別廃棄用の回収ボックスを用意し、発生元で分別を徹底しています。
- ・オフィスにおける省エネ施策として不用時の消灯及びパソコン電源OFF等の活動を徹底しています。

全員参加のきめ細かな環境管理活動の展開



絵で見る廃棄物分別方法、古紙回収マニュアル

各職場に掲示し、全従業員に徹底しています。

オフィスの省エネ

冷房機（エアコン）の省エネ
冷房設定温度は28以上にしましょう。

パソコンの省エネ
1時間以上の離席時は電源OFFしましょう。

天井照明の省エネ
昼休みは消灯しましょう。

オフィスの省エネ対策として全従業員に啓発を実施しています。社内イントラでも案内しています。

■ エコファクトリー活動 8

関連会社等への支援活動

環境管理・安全衛生レベルの向上のために関連会社等や取引先と定期的に情報交換しています。

- ・ 関連会社等及び協力会社と環境安全に係わる協議会及び現地情報交換会などを定期的に開催し、相互の環境・安全レベル向上に努力しています。
- ・ 資材供給者等の取引先に対してエコアクションプラン概要版等を配付することで、当社の環境管理活動の取り組みを理解していただいています。



関連会社等・協力会社 環境安全現地情報交換会

関連会社等の方々に環境・安全に関する活動状況の確認を目的にアンケート調査の実施や、内部監査員として参画し活動レベルの向上に努めています。

(開催日 2004年7月)



関連会社等・協力会社 環境安全連絡協議会

関連会社等の方々に当社の環境管理・安全衛生に係わる活動内容を展開する機会として環境安全協議会を開催しています。

(開催日 2004年6月)

■ エコファクトリー活動9

内部環境監査

自主的な環境管理活動レベル向上のために全部門（12部門）を対象に内部環境監査を実施しました。

- ・環境負荷の大きな部門に対しては、インタビューとパトロールチェックを併用したきめ細かな監査を行いました。
- ・環境負荷の小さな部門に対しては、効率的に書類監査を行いました。
- ・2004年度からは内部環境監査のレベルアップのために要因の解析を強化します。（是正処置フローの見直し実施）



インタビューチェックで環境管理活動状況の書類確認を行い、書類に記載されている内容の事実関係を担当者に直接ヒアリングすることで、検証しています。また、必要に応じてインタビューでの確認内容を現地パトロールでもチェックするようにしています。



環境保全施設の運転状況、PH計などの監視機器の校正状況および緑地管理状況等、環境に係わる重要な運転管理状況を現地パトロールで確認しています。また必要に応じて点検結果などの帳票類の確認も実施します。



総括会議では評価できる点、指摘事項等を中心に関係者でディスカッションを行っています。特に指摘事項に関しては、顕在的な不適合なのか潜在的な不適合なのかを議論し、その議論内容を効果的な施策につなげるようにしています。

■ エコファクトリー活動10

環境経営監査・遵法監査

- N E C E Lグループでは環境レベルの向上を目指して、環境監査員を派遣しあって毎年環境経営監査を行っています。
- I S O 1 4 0 0 1の要求事項と環境改善に関する取り組み状況を監査受けながら、情報交換の場として活用しています。
- 環境に関する遵法のチェックも受けていますが、さらにグループ内では専門員による法令の遵法監査も受けています。



環境管理部門のE M S取組状況や部門毎監査によりインタビューチェックで環境管理活動状況の書類確認を行い、書類に記載されている内容の事実関係を担当者に直接ヒアリングしています。また、必要に応じて現地パトロールでもチェックするようにしています。



監査員の指定する環境保全施設の運転状況、P H計などの監視機器の校正状況および緑地管理状況等、環境に係わる重要な運転管理状況を現地パトロールで確認していただいています。また必要に応じて点検結果などの帳票類の確認も実施します。



環境管理・安全衛生に関する法令の専門家による関係する全ての法令について遵法監査を受けています。条文に基づいて詳細項目にいたるまで帳票等で確認されています。

■ エコファクトリー活動 1 1

教育・意識啓発活動

- ・従業員各自の環境管理レベル向上のために環境管理教育や環境意識向上活動を前向きに展開しています。
- ・全員参加の環境管理活動を活性化させていくために環境月間（6月、11月）を設定しています。



エコ講演会

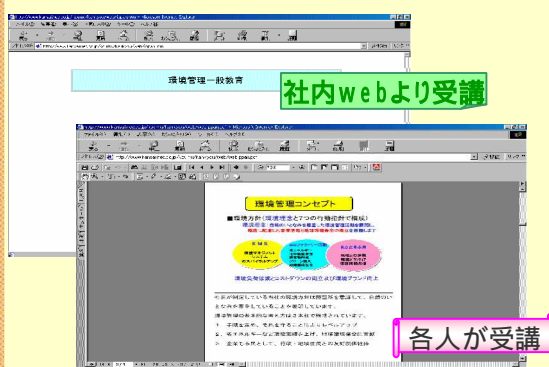
環境意識向上を目的に従業員及び近隣自治会の方を対象に時の話題をテーマに環境管理教育を行っています。2004年度は、世界の湖沼と琵琶湖、菜の花プロジェクトをテーマにエコ講演会として環境管理教育を実施しました。

（開催日 2004年11月）



環境管理ポスター・標語

環境管理に係わるポスター・標語を年1回募集し、優秀作品を社内に掲示することで、環境意識向上につなげています。2004年度は応募作品ポスター18件、標語 2719件から、ポスター4点、標語8点の優秀作品を選出し掲示しました。



環境Web教育

全従業員を対象に環境管理教育を行っており、パソコンを活用していつでも受講者の都合により受講できるようにしています。

また、特定の教育についてもWeb教育についてもWeb教育を活用しています。

■ エコファクトリー活動12

地域の環境団体の中で積極的に活動

- ・ おおつ環境フォーラムでは運営委員、大津環境マネジメントシステムプロジェクトではサブリーダーを担当しています。
- ・ 生ゴミリサイクルプロジェクトの活動に協力し、当社従業員食堂の生ゴミを社内で肥料化し、近隣農家の野菜作りに利用していただいています。

また、栽培された野菜は当社で場所を提供し、フォーラム主催の青空野菜市で販売され、スタッフとして参画協力しました。



おおつ環境フォーラムの活動に協力

おおつ環境フォーラムのOES（大津環境マネジメントシステム）プロジェクトでマネジメントシステムの普及活動を展開しています。

（開催日 2004年7月）



■ エコファクトリー活動13

グリーン調達活動の推進

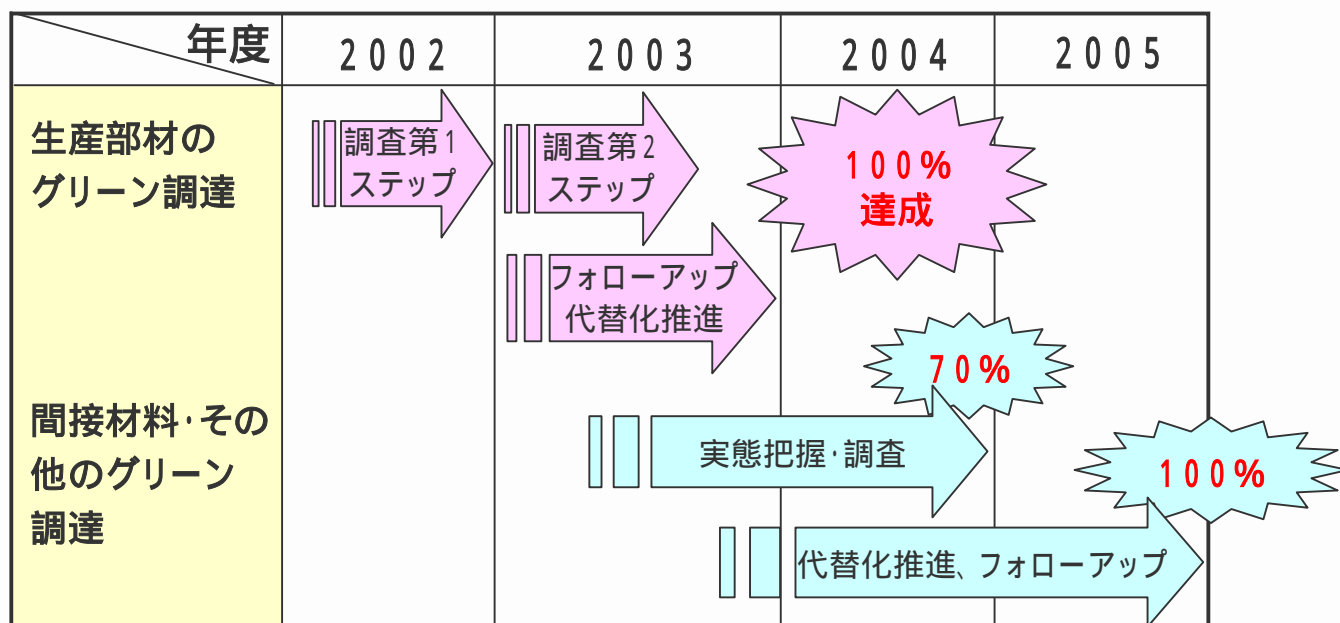
事務用品のグリーン購入については在庫・払い出し品を対象にグリーン製品への切り替えを完了しています。

また、直接材料に係わるグリーン調達率に関しても2004年2月に100%を達成しました。

現在は、間接材料にフォーカスした活動に精力的に取り組んでおり、2006年3月に100%達成の計画をしています。

【中期目標】

間接材料その他グリーン調達率：100%（2005年度末）

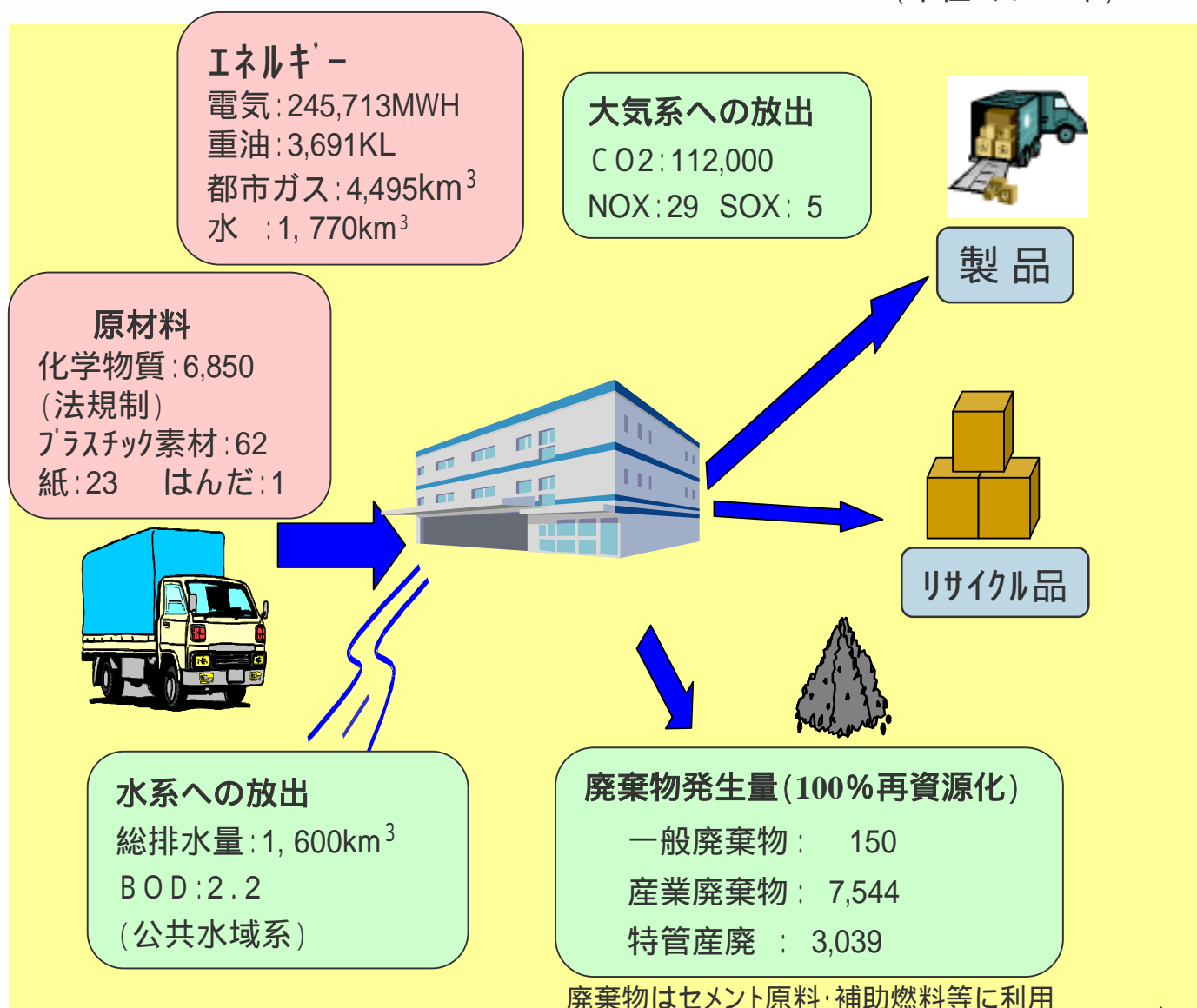


■ 環境負荷マップ

マスバランス

- ・環境に係わるインプット及びアウトプットデータを確実に管理し、環境負荷低減のために活用しています。
- ・自然界の環境負荷が増加しないように継続的改善を進めていきます。

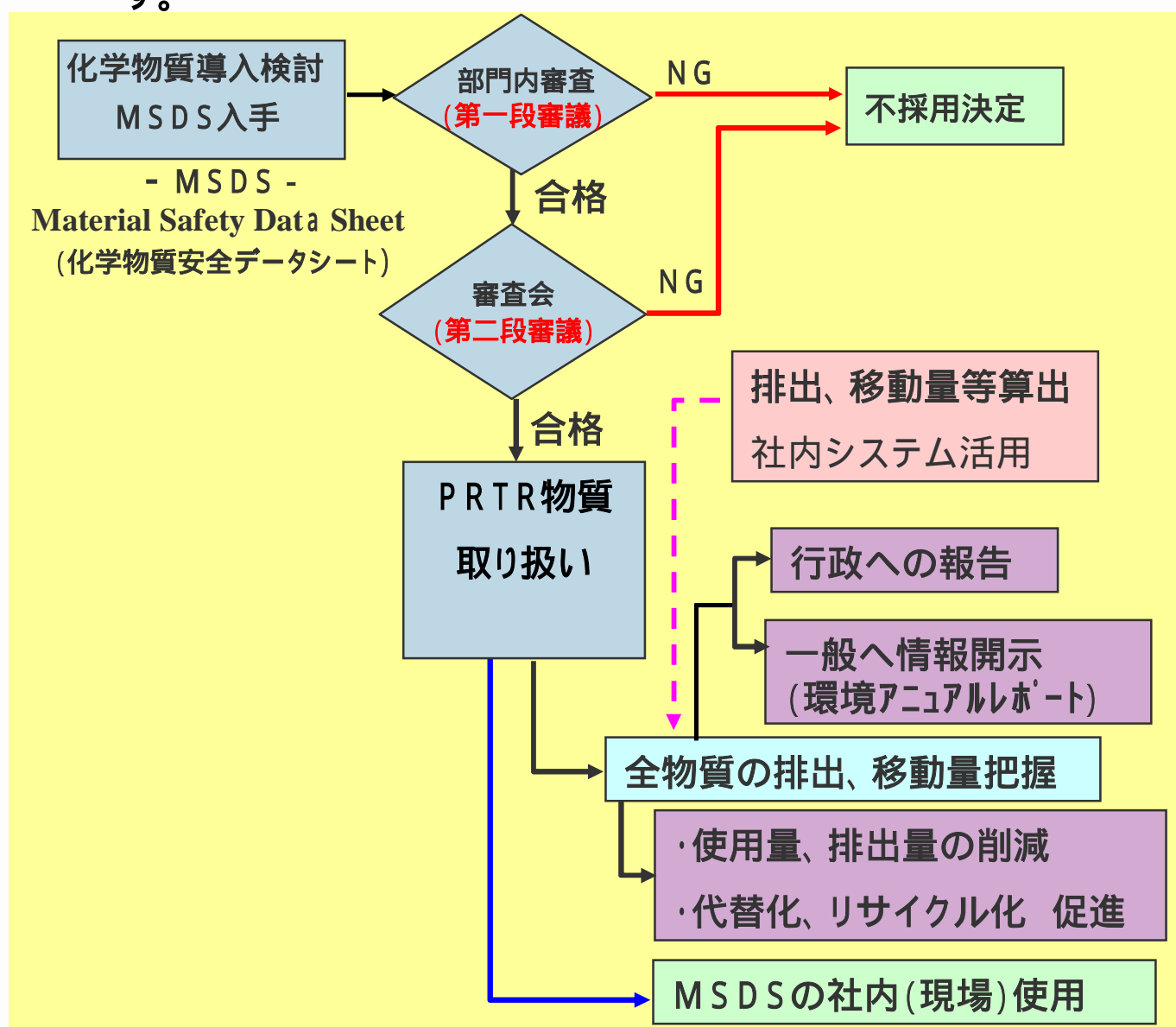
(単位:トン/年)



■ 化学物質管理 (PRTR法対応)

化学物質導入フロー

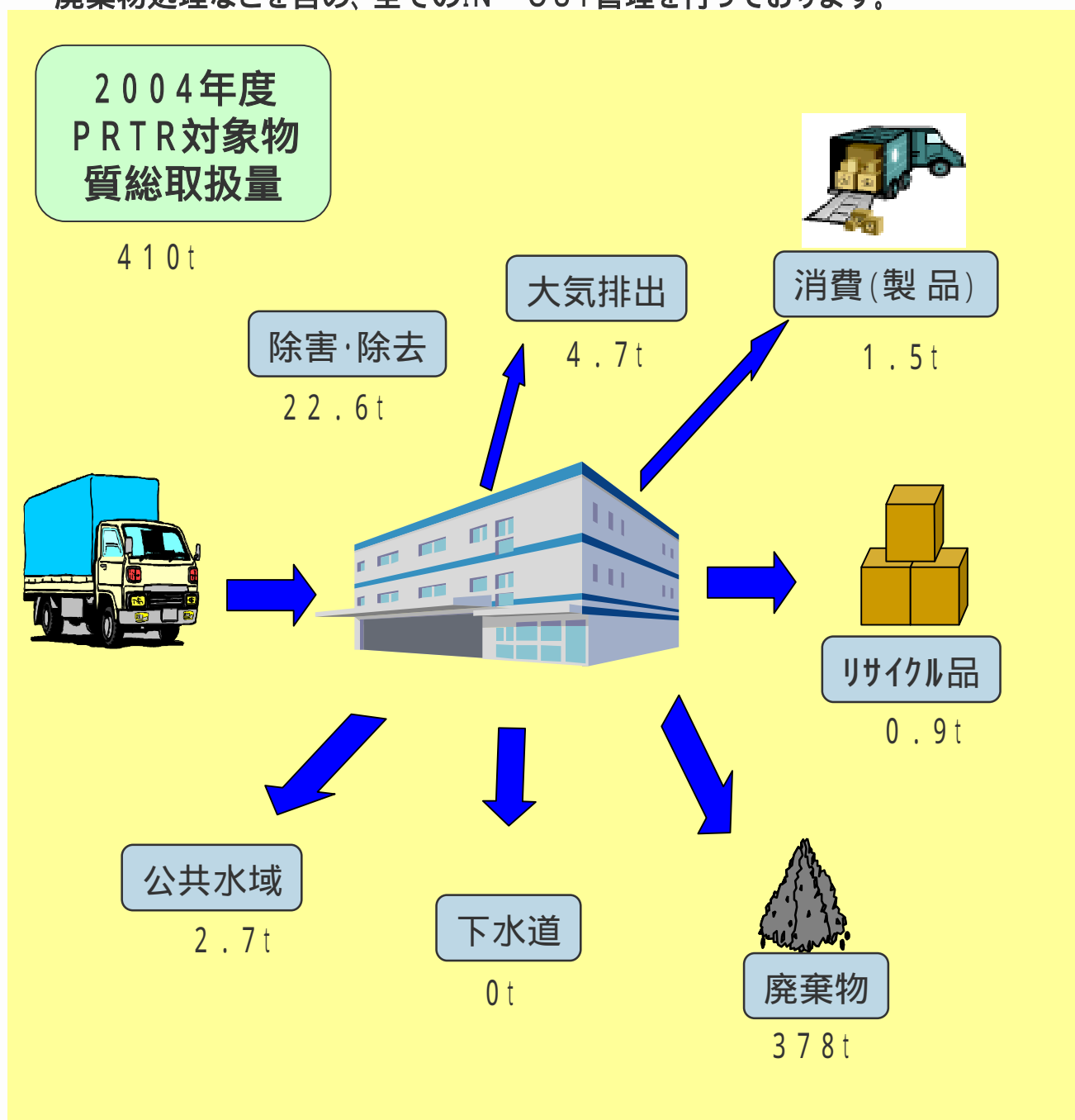
- ・ 2001年4月に化学物質の排出・移動量を把握するための法律であるPRTR法が施行され、4年が経過しました。
- ・ 当社では、化学物質導入段階から有害性等を2段階で厳重に審議し、有害な物質を使用しないように努めています。
- ・ PRTR法物質は、削減・代替化及びリサイクルを進めています。



■ 化学物質管理 (P R T R法対応)

P R T R対象物質の排出量削減活動

P R T R対象物質は資材の購入から製品として出荷したり、排水処理、排ガス廃棄物処理などを含め、全てのIN - O U T管理を行っております。



■ 化学物質管理 (P R T R 法対応)

2004年度のP R T R対象物質排出量、移動量

(単位:t)

化学物質名	政令 番号	取り扱い量	消費量 (製品含有)	除去処理量	排出・移動量			リサイクル量
					大気排出量	公共水域 排出量	廃棄物処理 量(注)	
2 - アミノエタノール	16	9.41	0.00	0.00	0.00	0.00	9.41	0.00
アンチモン及びその化合物	25	0.84	0.25	0.00	0.00	0.00	0.59	0.00
エチレングリコール	43	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
キシレン	63	37.40	0.00	0.00	0.56	0.00	36.84	0.00
銀及びその水溶性化合物	64	0.69	0.31	0.00	0.00	0.00	0.00	0.38
クロム	68	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02
クロロベンゼン	93	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.10	0.00
無機シアン化合物	108	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.06	0.00
o - ジクロルベンゼン	139	132.03	0.00	0.00	3.61	0.00	128.42	0.00
チオ尿素	181	0.01	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00
1,3,5 - トリメチルベンゼン	224	16.35	0.00	0.00	0.00	0.00	16.35	0.00
鉛及びその化合物	230	0.21	0.09	0.00	0.00	0.00	0.01	0.11
ニッケル	231	0.19	0.09	0.00	0.00	0.00	0.00	0.10
砒素及びその無機化合物	252	1.30	0.78	0.00	0.00	0.00	0.28	0.24
フェノール	266	60.01	0.00	0.00	0.48	0.00	59.53	0.00
ふっ化水素及びその水溶塩	283	151.04	0.00	22.55	0.00	2.73	125.76	0.00
ほう素及びその化合物	304	0.18	0.01	0.00	0.00	0.00	0.17	0.00
ポリ(オキシエチレン) = アルキル エーテル	307	0.12	0.00	0.00	0.00	0.00	0.12	0.00
合 計		410.21	1.53	22.56	4.65	2.73	377.89	0.85
比 率 (%)		100.0	0.5	4.5	0.7	0.6	93.3	0.4

注: 廃棄物処理量には、委託再資源化量によるリサイクル量を含む

PRTR対象物の環境への排出量の削減に取り組んでおり、
現在、有機化合物の大気排出削減に努力しています。

■ 環境会計(2004年度実績)

環境経営を進めるうえで、環境会計は重要であり、ここでは、設備投資額と経費、それと実質的な経済効果を掲げています。設備投資(全体;約142百万円)の約74%は、地球温暖化防止(特定フロンの廃止、省エネ)のための冷凍機更新であり、費用(全体;約1253百万円)の約42%はリスク対応のための排水、排ガスプラントの運転費用です。経済効果(全体)は155百万円でした。

環境会計集計結果

(単位:百万円)

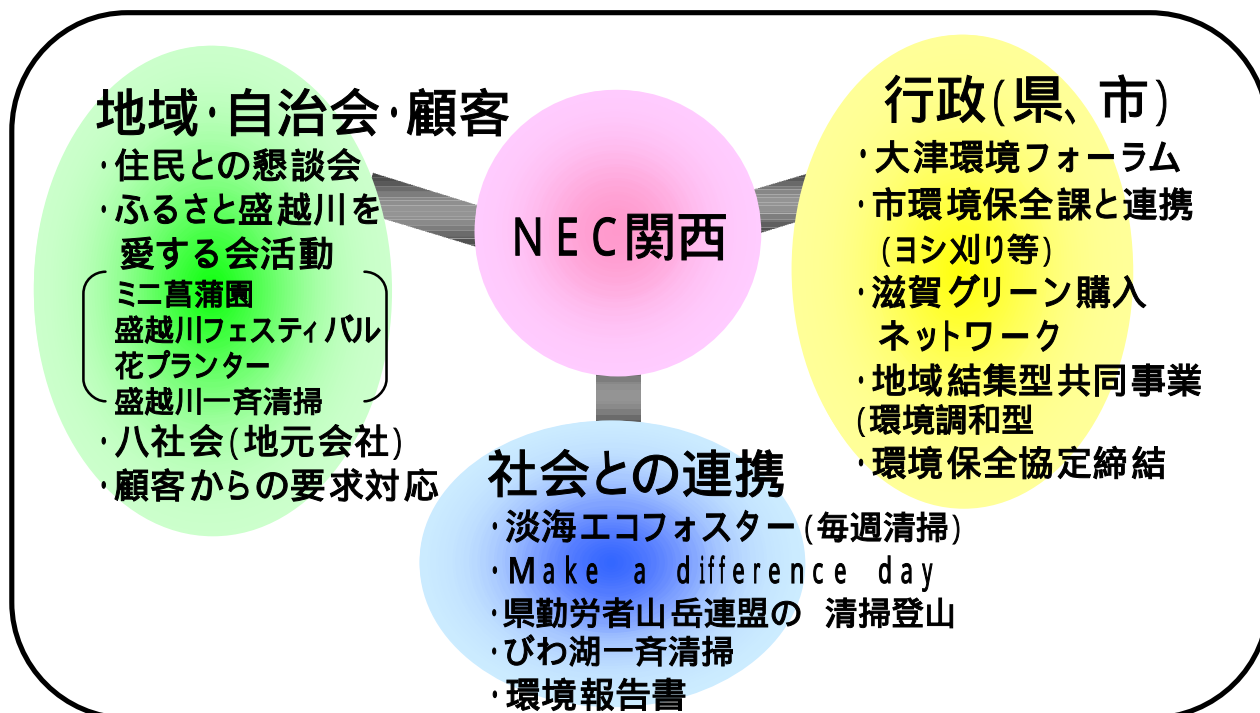
項目	内容	設備投資額 (百万円)	経費 (百万円)	効果	
				経済効果 (百万円)	環境負荷低減
地球温暖化防止	地球温暖化防止対策	105.5	0.0	104.8	4,143t-CO2
資源有効活用	化学物質・資材・水等の使用量低減対策	5.0	0.8	40.1	135.3ton
資源循環活動	廃棄物の再資源化、発生抑制対策等化学物質	19.8	269.6	10.1	180,390ton
リスク対応	公害防止対策、遵法対応・化学物質・廃棄物管理・訓練	11.7	524.9	0.0	-
製品環境配慮	製品・製法アセスメント等	0.0	0.0	-	-
環境活動	人件費、人材育成費	0.0	411.9	-	-
研究開発	環境負荷低減技術開発	0.0	0.0	-	-
社会活動	社会貢献・情報公開・緑化	0.0	45.4	-	-
環境損傷(その他)	汚染負荷量賦課金	-	0.5	-	-
合計		142.0	1253.1	154.9	

■ 環境情報開示、コミュニケーション

環境コミュニケーション

当社は、ステークホルダーをはじめとした関係の皆様との環境に係わるコミュニケーションを非常に大切にしています。行政との情報交換としては、大津市との環境保全協定による定期報告を行いその報告内容を大津市のホームページに掲載してもらうことで、皆様にもご覧頂けるように致しております。顧客との情報交換としては、顧客からの環境調査などにタイムリーに対応するようにしています。地域の皆様とは、環境説明会などのイベントや環境ボランティア等を通じて意思疎通を図るようにしています。

環境コミュニケーションの確実な実施



■ 環境測定結果

測定結果

国や地方自治体の定める規制値より、更に厳しい自主管理基準値を設定し、管理しています。その管理状況を定期的に監視するために環境関係測定を実施しています。

水質関係測定結果

2004年度測定結果の平均値

測定項目	国基準値	上乗せ基準値	自主基準値	平均測定値	測定結果	MAX
カドミウム	0.1	0.01	ND	ND	○	ND
シアン	1	0.1	ND	ND	○	ND
鉛	0.1	0.1	ND	ND	○	ND
六価クロム	0.5	0.05	0.02	ND	○	ND
砒素	0.1	0.05	0.01	ND	○	ND
水銀	0.005	0.005	0.001	ND	○	ND
PH	5.8-8.6	6.0-8.5	6.5-8.0	7.4	○	7.2-7.7
BOD	160	20	4.7	1.4	○	2.4
COD	160	20	5.9	3.3	○	4.3
SS	200	70	4.1	1.1	○	2.3
n-hex	5	5	1	ND	○	ND
フッ素	8	8	2.2	1.7	○	2.2
総窒素	120	8	5	1.3	○	2.5
総リン	16	0.8	0.2	0.06	○	0.09
大腸菌群数	3000	3000	37	0	○	0
銅	3	1	0.1	ND	○	ND
亜鉛	5	1	0.5	ND	○	ND

単位はPHを除き mg/l、大腸菌群数:個/cm³

注: 印は測定結果が自主基準値内であることを示す

pH:水素イオン濃度 SS:水中の汚濁物質濃度 BOD:生物化学的酸素要求量 COD:化学的酸素要求量

大気測定結果

2004年度測定結果の平均値

大津工場測定施設	測定項目	単位	国の基準値	自主基準値	平均測定値	測定結果	MAX
ボイラー	ばいじん	g/m ³ N	0.3	0.09	0.01	○	0.02
	窒素酸化物	ppm	180	130	115	○	120
	硫黄酸化物(K値)	-	8.76	1	0.21	○	0.23
ボイラー	ばいじん	g/m ³ N	0.3	0.09	0.03	○	0.04
	窒素酸化物	ppm	180	130	65	○	66
	硫黄酸化物(K値)	-	8.76	1	0.18	○	0.19
ボイラー	ばいじん	g/m ³ N	0.3	0.09	0.01	○	0.01
	窒素酸化物	ppm	180	130	72	○	73
	硫黄酸化物(K値)	-	8.76	1	0.1	○	0.13
ボイラー	ばいじん	g/m ³ N	0.3	0.09	0.01	○	0.01
	窒素酸化物	ppm	180	130	98	○	110
	硫黄酸化物(K値)	-	8.76	1	0.17	○	0.2
ボイラー	ばいじん	g/m ³ N	0.3	0.09	0.02	○	0.03
	窒素酸化物	ppm	180	130	73	○	75
	硫黄酸化物(K値)	-	8.76	1	0.12	○	0.13

注：印は測定結果が自主基準値内であることを示す

騒音・振動測定結果

2004年度測定結果の平均値

測定	測定時刻	単位	国の基準値	自主基準値	平均測定値	測定結果	MAX
騒音	6:00~8:00	dB	65	60	53	○	56
	8:00~18:00	dB	70	65	54	○	58
	18:00~22:00	dB	70	65	53	○	55
	22:00~翌6:00	dB	60	55	52	○	55
振動	8:00~20:00	dB	65	60	31	○	33
	20:00~翌8:00	dB	60	55	31	○	33

注：印は測定結果が自主基準値内であることを示す

分析測定：株式会社近畿分析センター

URL <http://www.kbc-em.co.jp>

■ 地域社会とのかかわり1

2004年度環境ボランティア実施状況

良き企業市民の仲間入りをすべく地域に密着した活動を展開しています。

- ・ 地域環境向上の一環として、環境ボランティア活動等を積極的に実施し、地域社会とのつながりを密にしています。
- ・ 行政、市民、当社従業員が一体となり、特徴的な活動を展開するように努力しています。



全国ボランティアフェスティバルびわこ

大津市で開催された第31回全国ボランティアフェスティバルにおいて、当社における地域環境向上活動及びNECELの社会貢献活動を紹介するパネルを作成し、会場に展示しました。

(実施日 2004年9月)



Make a difference day

NECグループでは社会貢献活動の一環として「Make a difference day」を設定しており、当社では、琵琶湖博物館のある烏丸半島周辺の清掃を従業員及びその家族約300名で実施し、2トントラック一台分のゴミを回収しました。(実施日 2004年11月)



ヨシ刈り

水質浄化や生物を豊かに育むなど様々な機能をもつヨシ帯を保全する活動が市民、事業者、行政が一体となって行われています。毎年、大津市主催でこのヨシ刈りが実施されており、当社からも20名が参加し、良き企業市民としてさわやかな汗を流しました。(実施日 2005年2月)

■ 地域社会とのかかわり2

地域との環境コミュニケーション実施状況

- ・ 地域の皆様との定期的な情報交換の機会として、近隣自治会との懇談会を年1回実施しています。
- ・ 地域の方との共同作業としてプランターの花の植替えや松並木の整備を進めています。



自治会との懇談会

地域の方との環境コミュニケーションの一環として地元自治会の役員の皆様と情報交換を行いました。当社全般に係わる内容及び環境管理活動を説明すると共にP R T R法への対応状況についても情報提供しました。

(開催日 2004年5月)



県民ゴミゼロ大作戦

「ふるさとの盛越川を愛する会」のメンバーの方達と川の清掃活動をする一方で川の中には菖蒲を植栽して花を楽しんでもらっております。

また、川の中の草刈りも行います。

(実施 2004年5月)



花の植え替え

近隣自治会の方と共同で盛越川沿いのプランターの花の植替え作業を年2～3回行っています。地元自治会の方約20名及び当社従業員約20名が気持ちのいい汗を流しました。

(開催日 2004年12月)

■ 地域社会とのかかわり3

淡海エコフオスター制度に登録

NEC関西有志・晴嵐1丁目自治会は、公共場所を責任もって定期清掃する淡海エコフオスターの合意書に滋賀県知事と締結し、毎週水曜日に清掃活動を実施しています。

- ・ 毎週水曜日に清掃活動実施
- ・ 湖岸道路、JR石山駅周辺、盛越川等の美化
- ・ 誰でも、いつでも自由参加

注) 淡海エコフオスター制度：エコ（環境）とフオスター（育成する）を結び付け、環境こだわり県滋賀での公共の場所の美化を推進する制度



社内報で参加の呼びかけをしています

登録看板



（毎週水曜日）

淡海エコフオスター制度に登録し、県道の清掃活動を行っています。
（看板取付日 2004年2月）

毎週水曜日には自主的に有志が集まって湖岸道路、JR石山駅周辺、当社の工場外周のごみ拾いを実施しています。また工場前の盛越川には菖蒲を植えています。

■ 地域社会とのかかわり4

工場敷地内にケナフを植えて地球環境保護に協力しています。

- ・ケナフは短期間に旺盛な成長をしますので普通の木より二酸化炭素の吸収が3～8倍と多くCO₂削減に効果があります。
- ・ケナフは夏の午前中に黄色い花を咲かせ従業員の目を楽しませてくれます。また、繊維を利用して紙漉きもできます。



毎年、地球環境保護を考えることを目的に工場敷地内に従業員の手でケナフを植えております。また、取れた種や苗を希望する従業員に提供して家庭や畑でも栽培してもらっています。

(実施日 2004年5月)



夏のケナフは楽しみです。成長が早く毎日どんどん背丈が伸びていきます。黄色い花が咲き始めると毎日たくさん咲きますので目の保養にもなります。

背丈が高い割には根が浅いのでちょっとの風で倒れてしまうので支柱に結んで倒れないように配慮しています。

(実施日 2004年7月)



ケナフの繊維から非木材紙に加工できます。敷地内で収穫したケナフを原料に名刺を作成しています。

また、地球環境保護の意識を高めるために従業員や近隣の方と一緒に紙漉き体験も行っています。(実施日 2004年11月)

■ 地域社会とのかかわり5

地域の環境団体の中で積極的に活動

- ・ 滋賀グリーン購入ネットワークでは行政や各種団体の方々と一緒になって滋賀独自の地域活動に参加しています。

また、評価手法研究会を担当し、取り組みレベルを相対比較したり、これから取り組もうとしている団体へのグリーン購入の普及方法を研究しています。



環境学習フェア

滋賀県では、環境学習の普及を目的に環境学習フェアが開催された。県民、NPO、学校、企業、行政など各々の立場で環境学習に対してどのように取り組んでいるか議論する場が設定され企業代表として当社が参画した。

(活動日 2004年11月)



滋賀グリーン購入ネットワーク5周年記念事業

滋賀グリーン購入ネットワークの常任幹事を担当しており、普及キャンペーンや各種セミナー・フォーラムなどの地域に根ざした活動に協力しています。

(開催日 2004年11月)



環境ビジネスメッセ

長浜ドームにおいて環境ビジネスメッセが開催され、その中で滋賀グリーン購入ネットワーク主催のグリーン購入普及活動が実施され、当社も常任幹事として対応に協力した。

(活動日 2004年10月)

■ 土壌・地下水問題への対応状況

○ 当社全工場でトリクロロエチレン・テトラクロロエチレン・1,1,1-トリクロロエチレンの使用は、1991年12月に全廃しています。

○ 1998年10月に当社の敷地内における塩素系有機溶剤による汚染状況を確認後1999年6月より本格的に浄化対策を進めています。

当社敷地内で塩素系有機溶剤による汚染を確認しました。その汚染箇所に対して地下水浄化処理装置を設置し、現在も浄化を続けています。

当社の敷地境界線を越えて、塩素系有機溶剤による汚染が全くないことを確認しています。

○ 現在、本社・大津工場では6本の揚水井戸を設置し3台の曝気装置にて地下水浄化を行っております。2003年度としては揚水量75km³/年の地下水を浄化致しました。

○ 定期的な地下水の分析測定により塩素系有機溶剤による汚染状況を監視しており、昨年度と比較して分析測定の結果改善が進んでいることを確認しています。



地下水曝気処理装置

○ 敷地内において環境基準値を超過している箇所を中心に今後も浄化を継続します。

○ 毎年の改善状況等については、担当行政へ報告を行なっています。また、行政を通じて要求のあった一般からの情報公開に対しても的確に対応しています。

○ 今後も土壌・地下水汚染に対して前向きに取り組むと共にその取り組み内容を環境報告書等を通して報告していきます。

○ 彦根工場閉鎖に伴い、土壌汚染対策法に基づいた調査を行い、問題ないことを確認しております。



琵琶湖にかかる近江大橋

発行日： 2005年7月

発行部門： 関西日本電気株式会社（NEC関西）
環境工務部（環境管理）

連絡先 ： 〒 520-8555

滋賀県大津市晴嵐二丁目9番1号
環境工務部（環境管理）

TEL 077-537-7528

FAX 077-537-8198

対象期間： 2004年4月～2005年3月

次回発行予定： 2006年6月

環境管理活動HPアドレス：

<http://www.neckansai.co.jp/>